



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月30日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エヌエフ回路設計ブロック
 コード番号 6864 URL <http://www.nfcorp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 常夫
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務管理本部長 (氏名) 大滝 正彦
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 045-545-8101

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,299	3.3	512	59.5	493	60.7	262	23.5
23年3月期第3四半期	4,163	26.7	321	346.9	307	270.2	212	435.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 260百万円 (23.8%) 23年3月期第3四半期 210百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	45.13	—
23年3月期第3四半期	36.42	36.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,361	4,530	54.2
23年3月期	8,550	4,357	51.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,530百万円 23年3月期 4,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	2.8	890	2.0	870	6.0	490	△2.4	84.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	6,270,000 株	23年3月期	6,270,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	442,853 株	23年3月期	441,953 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	5,827,591 株	23年3月期3Q	5,845,954 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから順調に回復を遂げてきましたが、欧州の財政不安等による海外経済の減速や円高の継続等により、先行きの不透明感を払拭できない状況が続きました。

当社グループの主要ユーザーであります製造業の設備投資は、緩やかな回復軌道を辿っていますが、依然として予断を許さない状況が続いております。こうした状況の中、当社グループは従来からの強み製品を中心に、前期以降発表発売した新製品の拡販および継続的な効果・効率改善、原価・経費低減等を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期における連結売上高は4,299百万円(前年同期比3.3%増)、損益面では経常利益493百万円(前年同期比60.7%増)、四半期純利益262百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

② 営業の分野別状況

当第3四半期における営業の分野別状況は、次の通りであります。

《電子計測器分野》

電子計測器分野では、LCRメータ ZM2410、インピーダンスアナライザ ZA5403/ZA5405、インピーダンス/ゲイン・フェーズアナライザ ZGA5920、デジタルマルチメータ DM2561を上市し、積極的な販売活動を展開いたしました。強み製品である周波数特性分析器やLCRメータ等が堅調に推移しましたが、全般的に需要面の力強さに欠け低迷しました。

以上の結果、電子計測器分野の売上高は815百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

《電源機器分野》

電源機器分野では、プログラマブル交流電源が特に産業機器市場、家電・情報機器市場で堅調に推移しました。また、保護リレー試験機が電力関連市場において、電力増幅器が自動車関連市場、大学・研究機関等において、電子負荷装置が産業機器市場等において堅調に推移しました。

以上の結果、電源機器分野の売上高は1,830百万円(前年同期比2.7%増)となりました。

《カスタム応用機器分野》

カスタム応用機器分野では、各種電池評価システム、系統連系関連装置等が特に産業機器市場、社会インフラ市場、自動車関連市場等において堅調に推移しました。

以上の結果、カスタム応用機器分野の売上高は678百万円(前年同期比8.6%増)となりました。

《電子部品分野》

電子部品分野は、当社が得意としているアナログ技術をベースにしたカスタム製品が主で、鉄道市場向けフィルタ、電力関連市場・産業機器市場向けの電子部品を中心に、総じて堅調に推移しました。

以上の結果、電子部品分野の売上高は695百万円(前年同期比6.1%増)となりました。

《その他分野》

この分野は、カスタム応用機器に組み込まれる商品の売上と修理・校正が主なものです。

その他分野の売上高は278百万円(前年同期比14.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は現金及び預金、棚卸資産、固定資産が増加したものの、売上債権が減少したことなどにより、前連結会計年度と比較して188百万円減少し、8,361百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して、361百万円減少し3,831百万円となりました。

純資産は前連結会計年度と比較して、173百万円増加し4,530百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、東日本大震災等によるショックからの回復持続が予想される一方、海外経済の先行き不安、円高定着等の懸念材料も依然として多く、当社グループを取り巻く環境は今後も予断を許さないものと考えております。

このような状況のもと、当社グループでは環境変化にさらに俊敏に対応すべく事業全般の効果・効率を一層高め、製品の拡販、原価・経費低減等を強力に推進してまいります。

開発面では特に電子計測器、電源機器の製品ラインアップ強化を図っており、販売面では展示会等での商品PRや製品別の技術セミナーを積極的に展開し、製品の拡販をさらに推進してまいります。また、環境エネルギー関連に注力する等、お客様へのソリューション活動を強力に展開し、所期の業績の実現を目指してまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、前回業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,356,436	2,578,397
受取手形及び売掛金	2,626,201	1,747,055
商品及び製品	293,412	500,010
仕掛品	471,358	646,858
原材料	473,608	528,834
その他	305,155	294,223
貸倒引当金	△43,021	△40,477
流動資産合計	6,483,151	6,254,903
固定資産		
有形固定資産		
土地	963,185	963,185
その他(純額)	636,191	697,886
有形固定資産合計	1,599,376	1,661,072
無形固定資産	172,785	172,391
投資その他の資産	294,738	273,264
固定資産合計	2,066,901	2,106,727
資産合計	8,550,052	8,361,631
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791,339	554,747
短期借入金	14,400	264,400
未払法人税等	423,018	10,476
賞与引当金	246,414	113,895
役員賞与引当金	33,195	—
受注損失引当金	—	21,605
災害損失引当金	24,230	13,555
その他	670,296	697,806
流動負債合計	2,202,894	1,676,486
固定負債		
社債	1,315,000	1,222,500
長期借入金	253,200	542,400
退職給付引当金	137,472	129,124
長期未払金	117,150	98,988
その他	167,288	162,018
固定負債合計	1,990,111	2,155,031
負債合計	4,193,005	3,831,517

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,000	910,000
資本剰余金	1,177,500	1,177,500
利益剰余金	2,453,575	2,629,135
自己株式	△195,414	△195,863
株主資本合計	4,345,660	4,520,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,386	9,340
その他の包括利益累計額合計	11,386	9,340
純資産合計	4,357,046	4,530,113
負債純資産合計	8,550,052	8,361,631

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,163,993	4,299,535
売上原価	2,598,997	2,564,968
売上総利益	1,564,996	1,734,566
販売費及び一般管理費	1,243,871	1,222,282
営業利益	321,124	512,284
営業外収益		
受取利息	1,063	451
受取配当金	3,371	4,310
助成金収入	6,300	—
償却債権取立益	—	4,551
その他	8,187	9,274
営業外収益合計	18,921	18,589
営業外費用		
支払利息	23,868	26,301
売上割引	5,165	5,919
その他	3,911	5,040
営業外費用合計	32,945	37,260
経常利益	307,101	493,613
特別利益		
固定資産売却益	260	648
投資有価証券売却益	770	—
貸倒引当金戻入益	70,315	—
特別利益合計	71,346	648
特別損失		
固定資産除却損	208	145
特別損失合計	208	145
税金等調整前四半期純利益	378,239	494,116
法人税、住民税及び事業税	163,744	162,655
法人税等調整額	1,614	68,480
法人税等合計	165,358	231,135
四半期純利益	212,880	262,981

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
四半期純利益	212,880	262,981
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△2,079	△2,045
その他の包括利益合計	△2,079	△2,045
四半期包括利益	210,801	260,935
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,801	260,935
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。